粕川地区復興まちづくり・堤防復旧　合同完成式（開催）

国土交通省

○ 令和元年東日本台風で堤防決壊した吉田川粕川地区において、復興のシンボルとなる“粕川地区防災コミュニティセンター”を含む一連の復興工事（町）と、堤防引堤工事（国）が完了し、令和7年10月12日（日）に合同完成式を開催（大郷町の関係者や住民など約80人が参加）。

○ 国土交通省と大郷町が連携して事業を推進し、地域の安全・安心の確保と、復興再生エリアのコミュニティ形成を目標とした環境整備が完了。



粕川堤防の決壊直後（2019年10月14日）



復興まちづくり・引堤の状況（2025年7月）



大郷町
石川良彦　町長



北上川下流事務所
畑山作栄　所長



大郷町議会
石垣正博　議長



中粕川行政区
高橋俊昭　区長





式典・記念碑序幕の様子





通り初めの様子

粕川地区復興まちづくり・堤防復旧　合同完成式（開催）

国土交通省



■石川良彦（いしかわ よしひこ）　大郷町長

- あの災害直後、吉田川の堤防が決壊し、水に浸かった故郷の姿を目の当たりにした私たちは、途方もない絶望感を味わいました。しかし、そこから立ち上がることができたのは、郷土を愛する皆様の「必ず元の場所に戻って生活したい」という強い思いがあったからです。
- この思いに応えるべく、町は速やかに復興再生ビジョンを作成し、被災５世帯分の宅地かさ上げ事業をはじめ、防災コミュニティセンター、避難道路の整備を進めてまいりました。そして国においては、決壊した堤防を引き堤により川幅を広げ、吉田川の安全性が著しく向上するよう整備してくださいました。町と国がそれぞれの役割を果たすことで、この地を将来にわたって守る、確かな安全基盤を築くことができたと確信しております。
- 災害の経験を風化させることなく、未来へと語り継いでいくこと。そしてこの地を「災害に強く、住んで良かった」と思える場所にすること。それが私たちの使命です。この復興事業を通じて得た経験を、今後の防災行政に活かし、町民が安心して暮らせる安全なまちづくりを、これからも力強く進めてまいります。



■畑山作栄（はたやま さくえい）　事務所長

- 令和元年東日本台風では、これまでの観測記録を上回る雨量と水位を記録し、33箇所で越水が発生、この粕川地区では、越水が引き金となり、堤防が約100メートルにわたって決壊し、110戸が損壊するという甚大な被害を受けました。
- その後、「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」として、河道掘削や堤防整備などの水害軽減対策を進めてまいりました。特に、復興まちづくりと粕川地区の堤防復旧計画を進めるにあたっては、地域の皆さまが組織された中粕川災害復興推進委員会と31回にわたる意見交換を行い、丁寧に事業を進めてきたところです。
- 本日、多くの皆様にご出席を頂いているところでありますが、工事用地をご提供頂きました地権者の皆さまをはじめ、発災当初、２４時間休みなく堤防復旧に尽力頂いた建設会社の皆さま、本格的な復旧にあたり関係された多くの皆さまのご理解とご協力をいただき、本日、このように完成の日を迎えることができました。この場をお借りして、改めて深く感謝とお礼を申し上げます。



■石垣正博（いしがき まさひろ）　大郷町議会議長

- 粕川地区の皆様を始め関係各位のご尽力により、復興まちづくりのシンボルとなります粕川防災コミュニティセンターが完成いたしましたことは、ご同慶に堪えないところであります。防災施設としての位置づけに限らず、地域の拠点、交流・賑わいの場として、これからのまちづくりに大きな役割を果たしてくれるものと、心から願うものであります。
- また、国におかれましても、決壊した堤防を整備され、吉田川の安全性を確保していただきましたことは、この地の安全を永遠に約束していただいたものと、強く思っておるところであり、堤防の上を走る避難道路は、我々の命を守る重要な役目を果たしてくれるものと期待するところであります。
- 風水害、地震など住民生活を脅かす自然災害に対しては、寸刻の油断も許されず、大郷町議会と致しましても、防災行政の推進には今後とも最善の努力をいたす所存であります。



■高橋俊昭（たかはし としあき）　中粕川行政区長

- あの日、押し寄せた濁流、そして、壊滅的な町並みを目の当たりにした時の絶望は、今でも鮮明に覚えています。家や財産を失い、この地域に住み続けることを諦めざるえを得なかった住民も多く、中粕川地区の人口は大きく減ってしまいました。
- しかし、その絶望の淵から、私たちは一歩ずつ歩みを進めてきました。国土交通省、宮城県、そして大郷町役場の皆様が、迅速な堤防改修計画と、復興まちづくり計画を策定してくださいました。そして、地元で組織した復興委員会を窓口に私たち地元住民の声に耳を傾け、議論を重ね、かさ上げ住宅の造成、防災コミュニティセンターの建設、避難道路の整備、そして強靭な堤防の整備という形で、復興を実現してくださいました。
- 今回完成したこれらの事業は、私たちが再びこの中粕川地区で力強く生きていくための礎となるものです。本当にありがとうございました。